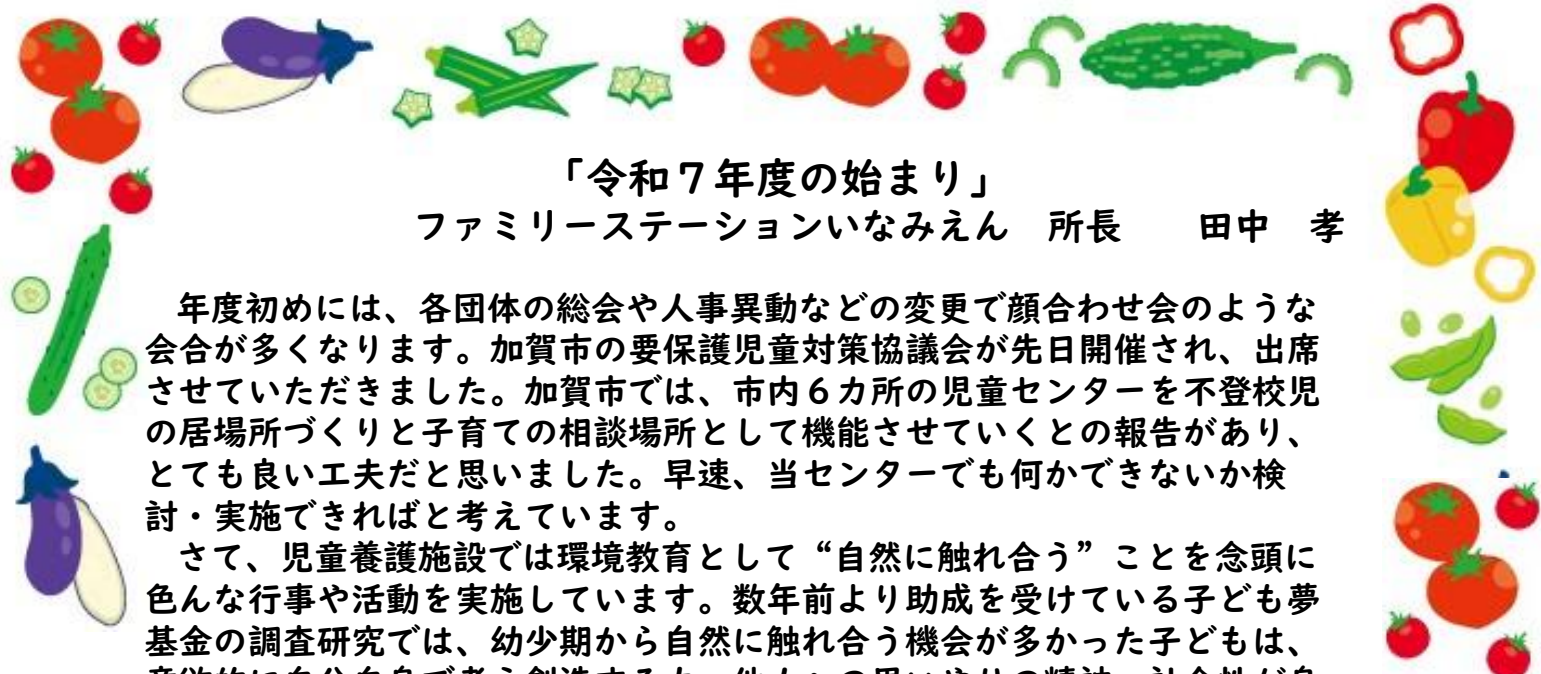




「令和7年度の始まり」
ファミリーステーションいなみえん 所長 田中 孝

年度初めには、各団体の総会や人事異動などの変更で顔合わせ会のような会合が多くなります。加賀市の要保護児童対策協議会が先日開催され、出席させていただきました。加賀市では、市内6カ所の児童センターを不登校児の居場所づくりと子育ての相談場所として機能させていくとの報告があり、とても良い工夫だと思いました。早速、当センターでも何かできないか検討・実施できればと考えています。

さて、児童養護施設では環境教育として“自然に触れ合う”ことを念頭に色んな行事や活動を実施しています。数年前より助成を受けている子ども夢基金の調査研究では、幼少期から自然に触れ合う機会が多かった子どもは、意欲的に自分自身で考え創造する力、他人への思いやりの精神、社会性が身に付くという結果が出ています。当園ではそれに基づき、“土をさわる、季節感を育てる”ことを目的に近所にある3カ所の畑で野菜栽培を実施しています。今号が発行される頃には、キュウリやトマトなどの夏野菜の収穫・実食の真っ盛りだと思います。子ども達が美味しそうに食べることを想像しながら、一緒にお世話をしています。

玉ネギ・ジャガイモ・スイカ
などを育てている畑
(5月中旬撮影)



今後の予定

- ★山代出張相談(よりみち相談室)
＜場所＞山代よりみちハウス
＜日時＞7月24日(木)15:00～17:00
- ★心理士さんとおしゃべりサロン会
＜場所＞キッズランドいなみえんなかよし広場
＜日時＞7月17日(木)10:30～11:30
- ★親の会
＜場所＞ファミリーステーションいなみえん
＜日時＞7月18日(金)19:30～21:00



相談受付時間



曜日	一般相談	心理面談(要予約)
月	9:30～17:00	
火		
水		
木		
金		
土		9:30～17:00



児童家庭支援センター ファミリーステーションいなみえん

〒922-0412 石川県加賀市片山津温泉井6番地
TEL 0761-75-8889 FAX 0761-74-1461

Email center@inamien.jp



ファミリーステーションいなみえん通信

発行：社会福祉法人 伊奈美園 発行日：令和7年6月吉日【第36号】

令和6年度運営実績報告

1.相談件数

新規受理件数(前年度からの継続の方も含む)は合計200名でした。相談延べ件数は前年度から404件増加の合計1716件となりました。以下、相談延べ件数の内訳について説明します。

(1)月別相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話相談	4	4	6	23	6	20	4	0	2	6	7	11	93
来所相談	17	16	18	5	33	2	26	13	9	12	14	15	180
訪問相談	70	122	99	124	77	101	113	93	80	87	93	102	1161
心理療法等	21	19	32	30	19	13	25	23	19	19	25	25	270
メール・SNS・手紙相談	2	0	0	1	0	1	0	0	1	3	2	1	11
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
月別延べ件数	114	161	155	183	135	137	168	129	112	127	141	154	1716

訪問相談件数は、前年度から411件増加の1161件となりました。また、心理療法等の件数は前年度から55件増加の270件となりました。増加の要因としては、以前よりも職員体制が整ったことが挙げられます。そのマンパワーを活かして、地域のニーズに応えた訪問・相談支援が行うことができました。

訪問相談についても、職員が増員したことで、“あいの宅食サポートプロジェクト”を以前の規模に戻して実施することができ、こども園訪問の頻度を増やすこともできました。

“あいの宅食サポートプロジェクト”は当児家セン独自の宅食事業で、加賀市在住の18歳までのお子さんがある家庭に食材・日用品を届けています。令和6年度は令和4年度の水準の訪問を行い、前年度よりも多くの子育て家庭と繋がることができました。

こども園訪問は、同法人内にあるこども園に心理士が出向き、園児の様子を見たり園児と関わったりする中で気付いたことを保育教諭と共有しています。令和6年度は訪問頻度を月1回から月2回に増やしたことで、より多くの園児と関わることができました。

(2)相談内容の種別延べ件数

養 護		保 健	障 害	非行		育 成				その他	合計
虐待	その他			＜犯等＞	触法行為	性格行動	不登校	適 性	育児・しつけ		
652	281	29	1	0	0	649	99	0	0	5	1716

相談内容については、昨年度同様「虐待」「性格行動」が多い結果となりました。「虐待」については、加賀市子育て応援ステーション等と連携しながら、虐待が疑われる家庭への支援に関わることが増えてきています。「性格行動」では発達面で支援の必要な子や、学校・家庭での対応の難しい子への相談が増えてきています。

(3)相談経路別の受付延べ件数

県・市町村			児童福祉施設		保健所 及び 医療機関	学校等	家族 親戚	近隣 知人	児童 本人	18歳 以上本 人	里親 里子	その他	合計
児童 相談所	福祉 事務所	その他	保育所	その他									
151	2	485	236	323	0	101	298	0	98	22	0	0	1716

相談経路は「県・市町」を通じた相談が最も多い結果となりました。「県・市町」のなかでも「その他」に分類される加賀市子育て応援ステーションを通じた相談を多く受け付けました。加賀市子育て応援ステーション主催の要保護児童対策地域協議会や個別ケース会議への参加などを通じて、地域の関係機関と密に連携を取りながら支援をしています。

2. 関係機関との連携・連絡調整

関係機関との連携・連絡調整は49件でした。毎月実施している児童相談所との受理会議（ケース管理）や要保護児童対策地域協議会、その他関係機関主催の会議や個別ケース会議への参加が件数に反映されています。令和7年度からは新入職員を迎えたことで職員体制がより充実しました。それに伴い、地域の子育て家庭への支援を充実させていくためにも、地域の関係機関との結びつきをさらに強めていきたいと思ひます。



新入職員紹介



森本雄介
相談員（公認心理師）

はじめまして。今年度4月から相談員として仲間入りしました森本雄介です。社会に出てから〇十年という歳月がとうに過ぎ、オールドルーキー感が半端ない感じですが、どっしりと構えたい理想を抱きつつ、日々の新しい体験にバタバタと過ごしています。児童福祉の世界は初めてで、これまでは教育領域で支援員や指導員として自然の家や教育支援センターで勤務してきました。前職の教育総合支援センターでは主に通室する子どもの自立支援とそれに伴う相談を行ってきた経験が背景にあり、「子ども達の居場所づくり」に興味を持っています。

自分自身見た目は固くて、面白みはないという認識なのですが、会う人には大概呆れられるか面白がられるという生き方をしているようです。どちらかという色物な所が多々あるとは思いますが、そういう人間だからこそできることを探して支援に繋がればと思います。どうぞよろしくお願ひします。



「親の会」活動報告

主任心理士 浅田伸史

10年以上前に発足した不登校生徒の保護者のグループである「親の会」は、親の会メンバー、やすらぎ加賀教室、当センターが協力して活動しています。毎月基本的に第3金曜の夜に当センターで定例会を開催しています。子どもの話を語るだけでなく、日ごろのなにげない出来事やちょっとした楽しい話をしたり、愚痴をこぼしたりとお互いが気を遣わず安心して何でも分かち合える場になっています。

コロナ以前は公開講演会を企画するなど活発に活動をしていましたが、コロナ禍以降は月一回の活動もお休みになることも出てきました。ようやくアフターコロナと言える状況になってからは、少しずつ以前のようにお茶を飲みながらお互いの思いを語り合ういつもの親の会が戻って来たと感じています。



今年はこの会をもう少しお子さんの不登校に悩んでいる保護者の皆さんに届くように活動していきたいと計画しています。

よりみち相談室

心理担当 里見隆行

「悩みごとを相談したい」「誰かに話を聞いてほしい」「うまく言えないけど気持ちがモヤモヤする」そんなときはちょっと寄り道して、お話してみませんか？

＜どんなところ？＞
子どもや子育てに関する悩み、子どもさん自身の悩み事や心配事などを相談することができる場所です。保護者の方だけでなく、お子さん自身も相談することができます。

第4木曜15時～17時に
予約なしでも相談できます

